

令和7年度（2025年度）
地域の元気応援プロジェクト年間報告会

ミツタマの紙すきじゃけえ

令和8年4月7日
ミツタマの紙すきじゃけえ

ミツマタの植林・
和紙の復活＋新しい工芸作品の制作

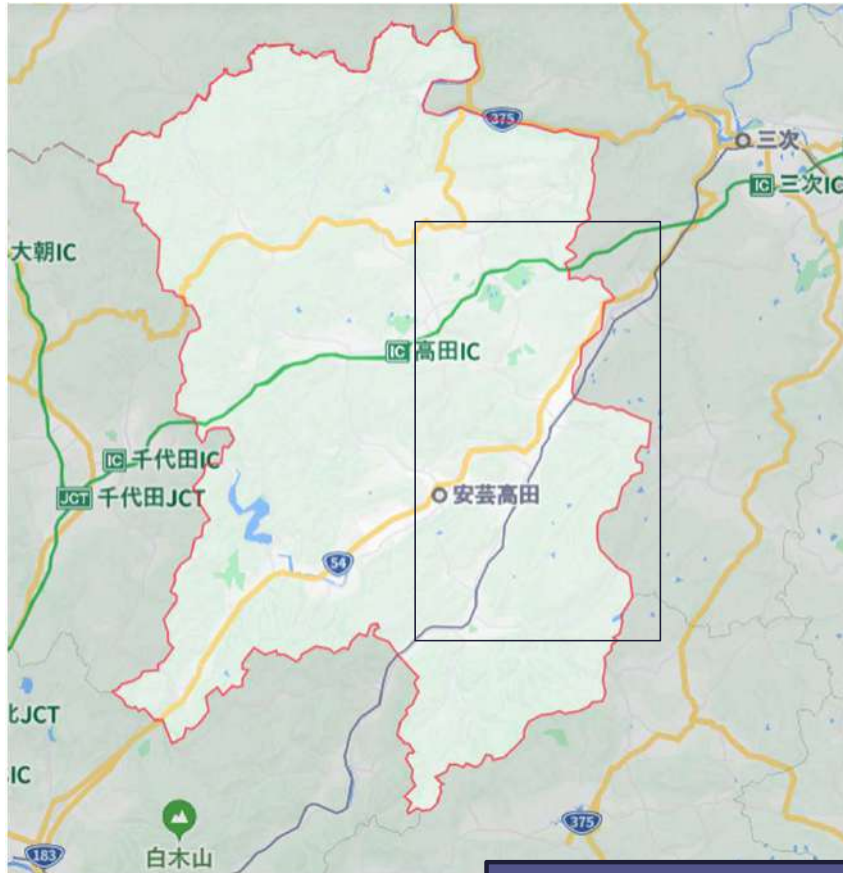
→中山間地域の再生



安芸高田市ミツマタ（自生適地）

- 和紙制作は消滅・花の鑑賞のみ
- 「資源を守る会」ミツマタ植林
- 広島大学との協力
- 和紙の再生を目指し
工芸作品制作
- 中山間地域の再生
地域循環型社会形成

安芸高田市 ミツマタ



ミツマタ植生(個人)



ミツマタ植林
(資源を守る会)

SDGs研修センター

ミツマタ群生地
(地域振興会)

ミツマタ：未利用資源と研究開発事業

広島大学
学生・教員

広島職人

「大竹手すき和紙」
は不可な事から、
島根県石州和紙の
工房へ。

資源を守る会

地域の専門家
2025年度
安芸高田市の職人

行政
安芸高田市
教育委員会

安芸高田市ミツマタ2026年度成果

- ① ミツマタの学術的考察
- ② 現地実習（伐採から和紙制作）
- ③ 島根県トロロアオイ制作
- ④ 材料整備（島根で精製）
- ⑤ 展覧会に取組の紹介
- ⑥ 学術学会で発表
- ⑦ 金唐紙へのアプローチ
- ⑧ 植林・ワークショップ

2026年度作業

① ミツマタの学術的考察（7月11日）

→ 広島大学で研究会開催

ミツマタについての学習

石州和紙職人・和紙会館からの講義

② 安芸高田市での実習（7月25日）

→ ミツマタの群生を確認・伐採・皮はぎ

交流会：資源を守る会＋広島大学学生

和紙制作（石州和紙職人の指導）

和紙の工芸作品制作：墨絵・機織り・草木染

③ 島根県トコロアオイ制作（11月3日）

2026年度作業

④材料整備（12月24日）

→「資源を守る会」（4名）が甲田町ミツマタ圃場で取れたミツマタ軽トラ1台分(15束)を浜田市石州和紙西田工房に届け、ミツマタ処理を開始する。

⑤展覧会に取組紹介（11月19～24日）

→東広島芸術文化ホール1階

⑥学術大会の発表（1月24日）

→

令和7年度（2025年度）第22回和文化教育全国大会京都大会 第5分科会 和文化教育学会にて発表（伊藤奈保子）

「大学における伝統工芸を生かした社会貢献－広島大学の事例から－」

2026年度作業

⑦金唐紙へのアプローチ（11月16日・2月7日）

→呉入船山記念館展覧会へ「資源を守る会」訪問
ミツマタ活用について江端氏と会合

⑧植林・ワークショップ（3月13・14日）

→資源を守る会・広島大学学生・金唐紙研究所
大竹鯉のぼり・白海市NPO法人代表・地元職人
テーブルコーディネーターの今後における会合
和紙制作（伐採・皮はぎ・石州和紙職人と和紙制作）

① ミツマタの学術的考察

ミツマタに関する研究会（於広島大学）

7月11日

和紙会館館長・西田工房職人

資源を守る会（農学博士の講義）

和紙を使った作品作り



和紙会館 職人・専門家 講義





和紙作品制作



②安芸高田市での現地実習 7月25日

ミツマタの群生を確認・伐採・皮はぎ
交流会：資源を守る会＋広島大学学生
紙漉き（石州和紙職人の指導）
和紙の工芸作品制作
墨絵・機織り・草木染



ミツマタの伐採





ミツマタ 結束





皮剥ぎ



紙漉き





和紙制作





工芸の考察

ミツマタと和紙
織機



工芸の考察 和紙の草木染



工芸の考察



ミツマタ
和紙墨絵





集合写真



ミツマタの和紙制作 感想会・交流会





交流会



③島根県トコロアオイ制作 石州和紙会館



採取した トロロアオイ 粉碎





集合写真



⑤ 展覧会に取組紹介 (11月から19~24日)

東広島芸術文化ホール1階



広島大学 地域の元気応援プロジェクト

ミツマタの紙すきじゃけえ



「ミツマタの植林・和紙の復活+新しい工芸品の制作→中山間地域の再生」をコンセプトに、安芸高田市の「資源を守る会」と広島大学伊藤研究室の学生が中心となり、広島の職人や地域の専門家が協力し、ミツマタが自生する環境を生かした和紙づくりを再興し工芸品を制作することを目指す。和紙制作については、石州和紙の工房と連携して進める。

2025年度現在までの作業

1. ミツマタの学術的考察(7月11日)

→広島大学で研究会開催
ミツマタについての学習
石州和紙職人・和紙会館からの講義

2. 安芸高田市での実習(7月25日)

→ミツマタの群生を確認・伐採・皮はぎ
交流会:資源を守る会+広島大学学生
和紙制作(石州和紙職人の指導)
和紙の工芸作品制作:墨絵・機織り・草木染

3. 島根県ネリ制作(11月3日)

→トロロアオイの根からネリを得る体験
石州和紙会館にて実施



◀1. 広島大学での講義
その後和紙を用いた
制作体験も実施

2. ミツマタの伐採▶
テーブル上の花瓶にさして
あるのは、ここで伐採し皮を
はいだ枝



◀3. 根の粉碎
小さく切られたトロロアオイ
の根を叩きネリを取り出す

本取り組みについてのより詳しい情報・最新の情報・連絡先については、次のウェブサイトをご覧ください。



◀広島大学社会連携室のHP



資源を守る会
(地域QOL研究所)
のHP▶

伊藤研究室のHP▶

ミツマタ和紙 を用いた展示



⑥ 学術学会での発表

令和7年度（2025） 第22回和文化教育全国大会京都大会 第5分科会

大学における伝統工芸を生かした社会貢献
— 広島大学の事例から —

令和8年1月24日

於京都光華女子大学 352室

広島大学 伊藤奈保子

⑦金唐紙へのアプローチ（2月7日）

明治輸出
工芸品

於入船山
記念館

安芸高田市
ミツマタ
の活用
会合





打ち込み
彩色



入船山金唐紙



⑧植林（3月13・14日）同時に②





令和7年3月13, 14日実習



展開：和紙を用いた製品・卒業証書等



ミツマタ本体



金唐紙のミツマタ使用



安芸高田市ミツマタの和紙工芸製品実現化

進捗状況は3か所から配信

①広島大学社会連携室：

<https://www.Hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2>

②資源を守る会：<https://lqol.1net.jp/achievements.html>

③伊藤研究室：<https://www.Hiroshima-itolab.com>

→2025年度：和紙制作工程の確認
製品制作への考察

ご清聴を有難うございました。